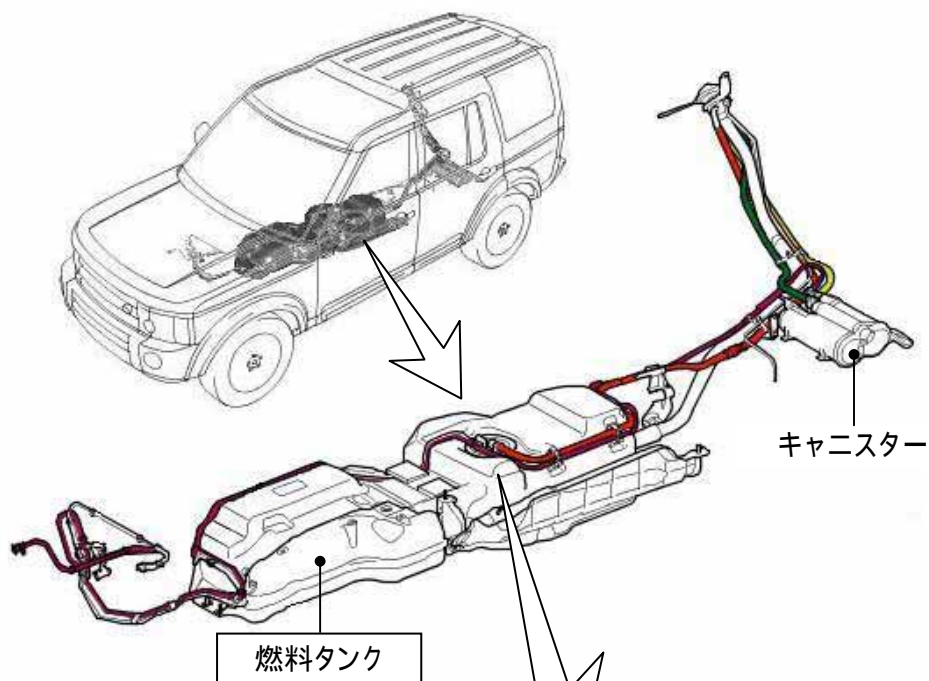


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

燃料タンク内のブリーザーパイプ（給油時に燃料タンク内の空気を外部に排出するためのもの）の成型加工が不適切なため、接続部が外れることがあり、燃料が規定以上に給油される場合がある。そのため、当該箇所より、燃料がキャニスターに流入し、エンジンに濃い燃料が供給され、エンジンが停止する、又は、外気温度が非常に高いときなどに、キャニスターの容量を超え、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料タンクを良品と交換する。

識別

燃料注入口フラップ（リッド）裏に黄ペイントを塗布する。

注： ☐ は交換部品を示す。

燃料タンク内部図

